



# 最良の専門職となる為に必要な事

IFLA継続的専門能力開発に関するガイドライン: 原理とベストプラクティス



## 学習者 ☆☆☆☆☆

次のことに向けて進めている学習に責任を持てる自立した専門職であること:

- 個人的にキャリア形成を推し進めること
- 所属する組織が最良のサービスを提供する為の支援を行うこと
- 専門職の発展に向けた貢献を行うこと

## ☆☆☆☆☆ 雇用主

次のことに対する責務を果たし、リーダーシップを発揮する雇用主であること:

- 効果的な人事に関する方針と手続を組み立てること
- 職員の学習活動のために予算と時間を充当すること
- 質の高いトレーニングプログラムと学習の機会を提供すること



## 図書館協会 ☆☆☆☆☆



次のような職員の能力向上の要点を支える専門職協会であること:

- 質の高い“継続的専門能力開発 (CPD)”を支える方針、資源、戦略を構築すること
- “継続的専門能力開発”の機会について情報を広めること
- LIS専門家が継続的な学習を進められるよう、動機づけをすること

## ☆☆☆☆☆ LIS 教員

次のことに向けて、生涯にわたる学習を推進するLIS教員であること:

- 大学卒業後の教育の機会を提供すること
- 専門機関や政府機関に対して、“継続的専門能力開発”のニーズや実践に関して助言すること
- 実践に寄与する研究に、学生と専門家を関わらせること



## トレーニング提供者 ☆☆☆☆☆



次のような質の高い“継続的専門能力開発”を推進するLISトレーニング提供者であること

- 新しい知識と技術を学ぶ機会を提供すること
- 成人学習の理論とインストラクショナルデザインの原理を追い求めること
- 適切な施設、技術、資源を活用すること

